

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【公表番号】特表 2018-537394 (P2018-537394A)

【公表日】平成 30 年 12 月 20 日 (2018.12.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-049

【出願番号】特願 2018-545105 (P2018-545105)

【国際特許分類】

C 0 4 B 22/06 (2006.01)

C 0 1 F 11/02 (2006.01)

C 0 4 B 24/10 (2006.01)

C 0 4 B 28/02 (2006.01)

C 0 4 B 24/06 (2006.01)

C 0 4 B 24/04 (2006.01)

C 0 4 B 24/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 4 B 22/06 Z

C 0 1 F 11/02 A

C 0 4 B 24/10

C 0 4 B 28/02

C 0 4 B 24/06 A

C 0 4 B 24/04

C 0 4 B 24/12 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 8 日 (2019.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

酸化カルシウムまたは酸化カルシウムと酸化マグネシウムの混合物を 40 - 100 総乾燥重量パーセント含有して成る前駆体アルカリ土類金属酸化物粒子に、(i) 澱粉、(i i) アスパラギン酸、グルタミン酸、グリシン、アラニン、フェニルアラニン、メチオニン、セリンおよびトレオニンから成る群より選択されるアミノカルボン酸、または (i i i) それらの混合物の存在下、 200 - 700 内の平均温度で 20 - 300 分間熱処理を受けさせた、処理アルカリ土類金属酸化物粒子、を含有して成る組成物。

【請求項 2】

前記処理アルカリ土類金属酸化物粒子が、前記粒子の総乾燥重量を基準にして少なくとも 80 - 100 総乾燥重量パーセントの酸化カルシウムを含有して成り、かつ前記処理粒子が、250 - 500 で 20 - 200 分間熱処理を受けたものである、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

澱粉、アミノカルボン酸またはそれらの混合物の存在下 200 - 700 の平均温度で 20 - 300 分の熱処理が完了した後の、処理された酸化カルシウムまたは粒子または処理された酸化カルシウムと酸化マグネシウムの混合物の粒子が、水和を開始させるに十分な量の水と混合した時に、請求項 1 に記載された温度範囲の熱処理を受けさせなかった

以外は同じである酸化カルシウムまたは酸化カルシウムと酸化マグネシウムの混合物の粒子に比べて、水と混合した時に少なくとも30分の水和の開始の遅れを示す、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記前駆体粒子が、アスパラギン酸の存在下で加熱され、前記アスパラギン酸の少なくとも80重量パーセントが、L - アスパラギン酸である、請求項1記載の組成物。

【請求項5】

前記澱粉が、トウモロコシ、タピオカ、小麦、米、ジャガイモ、サツマイモ、サゴ、豆およびこれらの混合物から得た精製澱粉から選択されるアルファ化澱粉である、請求項1記載の組成物。

【請求項6】

更に水和性セメント質結合剤を含有して成り、場合により更に骨材を含有して成り、水と混合した時に、セメント質モルタル、コンクリートまたはショットクリートの、ペーストまたはスラリーを形成する、請求項1記載の組成物。

【請求項7】

セメント質結合剤および請求項1記載の組成物を一緒に混合することを含んで成る、セメント質組成物を改質する方法。